

第 5 期石西礁湖自然再生協議会 途中参加希望者の紹介

順不同、敬称略

区分	名称	各者紹介と参加表明
個人	鈴木 款（すずき よしみ） （理学博士、静岡大学創造科学技術大学院環境エネルギーシステム専攻博士課程・プロジェクト研究推進室担当特任教授）	地球表層環境の生物活動に深く関る元素に関する生物地球化学を主な研究分野とする。主な研究に、サンゴ礁における炭素循環と二酸化炭素の吸収・放出過程に関する研究等がある。2015 年からは日本サンゴ礁学会会長を務める。 〔参加表明〕サンゴ礁の保全や再生に係る学術的な成果や問題点について正確に伝える役割を担うとともに、将来に向けた戦略的目標の立案等に貢献したいと考えています。
	中村 崇（なかむら たかし） （理学博士、琉球大学理学部海洋自然科学科 進化・生態学講座 准教授）	サンゴ礁の保全・修復に向けた生理生態学的研究等を主な研究分野とし、2013 年からは JST、JICA の地球規模課題対応国際科学技術協力として、パラオにおける「サンゴ礁島嶼系における気候変動による危機とその対策」のプロジェクトリーダーを務める。 〔参加表明〕国内外での造礁サンゴ類を主対象としたモニタリングや環境ストレス関連の研究成果を石西礁湖の自然再生に役立てていきたいと考えています。
団体	地域広報サポート石垣島	石垣島で環境保全活動等を行う NPO などの広報支援を通じて様々な主体間のコミュニケーションを促進し、島内外の方々のサンゴ礁保全に対する意識向上や協同への意欲喚起に貢献していきます。
	アンパルの自然を守る会	名蔵川河口域のマングローブ湿地「アンパル」の保全・再生を推進するため、赤土等の流出削減や大型開発による環境破壊の防止、アンパルの自然を活用した環境教育等に取組んでいきます。
	株式会社 東京久栄	海を主なフィールドとする環境総合エンジニアリング企業として、サンゴ群集修復工事の業績や生態系モニタリング、再生方策検討等の技術を石西礁湖自然再生に役立てます。
	特定非営利法人 夏花	持続可能な地元参加型のサンゴ礁保全活動を目指し、地元の方の理解を得ることを大切に、白保集落を中心に、地域の多様な自然環境を活用した体験・学習を提供していきます。
国の機関	沖縄気象台 地球環境・海洋課	地域に根ざした気象・海洋情報の提供に取り組んでいます。サンゴの調査・研究や監視に有用な水温等の海洋情報を提供するとともに、海洋環境や気象変動がサンゴ礁生態系に与える影響の理解の促進に貢献します。
	石垣島地方気象台 防災管理官	八重山地方の最新の気象・海洋情報の提供を通じ赤土等流出防止や環境に配慮した構造物の設置対策をサポートするとともに、地球温暖化や異常気象に関する広報活動に取り組めます。